

防災紙芝居 『なっちゃんランドセル』上演

8月20日。7年前のこの日は広島でも大規模な土砂災害が発生し、多くの方が犠牲になりました。

そこで自治会では、子どもたちにも防災の大切さを知ってもらおうと紙芝居『なっちゃんのランドセル』を上演しました。

この紙芝居は早期避難の大切さを訴える内容で、安佐南区の「子育て・サークル応援グループMaMaぼっけ」によって制作されたものです。

主人公の「なっちゃん」は、大雨の中、おじいちゃんやおばあちゃんにも避難を呼びかけ、一緒に避難所で夜を過ごしますが、翌朝自宅に帰ると家は土砂に襲われています。

宝物のランドセルも壊れてしまった悲しみですが、この体験から「何よりも命を守る行動が大切である」とことを学ぶというストーリーです。

子どもたちは語り手の若本副会長の声に静かに耳を傾け、じっと紙芝居に見入っていました。

7年前にはまだ生まれてなかった小さな子ども達もたくさんいますが、この紙芝居から豪雨災害の恐ろしさや早めの避難の大切さを感じ取り

った様子でした。

MaMaぼっけさん、子どもたちに貴重な学びの機会をいただき本当にありがとうございました。

7月から8月にかけては全国的に激しい雨が続き、A.CITYでも多くの被害が発生しました。

そして、今も不安定な気候が続いています。皆様におかれましては十分注意をされるとともに、危険を感じたら早めの行動を心がけて下さい。



高齢者いきいきポイント活動 押印キャンペーン実施

9月5日(日)に高齢者いきいきポイント活動の押印キャンペーンを実施しました。

自治会の活動に参加いただく中で、ポイント押印の機会を逃した方のために、市に提出される前に今一度確認する機会を設けたものです。

当日は、多くの方に会場を訪れていただき、自治会役員が対応しました。自治会としては、今後も安心して活動に参加いただきたためにも、このような機会を継続していきたいと考えています。

引き続き、自治会活動にぜひご参加下さい。



A. CITYの行事予定

9月11日(土) 有価資源ごみ回収日

9月19日(日) 自治会定例役員会

9月25日(土) 有価資源ごみ回収日

9月26日(日) H&T管理組合理事会

△自治会初企画▽ 夏休みラジオ体操を終えて

自治会福祉部では、体育部・Aナイスクラブ・A・CITYひとまちネットワークさんのご協力により夏休みのラジオ体操を行いました。全国ラジオ体操連盟より、のぼり旗やスタンプ・メモ帳などもいただき、活用させていただきました。

前半は晴天に恵まれたのですが、後半は台風や秋雨前線による警報発令が相次いだこともあって、毎日楽しみに来てくださる皆様の安全を考えながら、天気予報とにらめっこする日々が続きました。(結局、3日間中止)

小雨時は、管理センターにお願いして電気を付けていただき、屋根のある通路で行ったこともありました。

楽しいラジオ体操を!というスタッフの発案でラジオから流れる放送だけでなく、各地の方言版や外国版のラジオ体操もあり、「今日は何?」と子どもたちから尋ねられ、楽しみにしていたのでいたのではないかと思います。

方言版で行った日は、「僕〇〇で生まれたんよ!」とか「ここ家族で行ったことあって水族館が楽しかったよ!」などニコニコの笑顔で話してくれた子どもたちの顔が思い出されます。

A・CITYひとまちネットワークさんからは、毎日子どもたちへ乳酸菌飲料を、最終日には皆勤賞を提供していただきました。

また、大塚の珈琲屋「おますコーヒー」さんからはカフェオレベースとアイスコーヒーのご提供をいただきました。その他にも、住民有志の方からカルピスやアイスの差入れがあったり、自治会からも時々サプライズの参加賞や熱中症予防の飴、最終日には参加者全員に金メダルをお渡ししました。

誰も来てくれなかったらどうしようという当初の心配をよそに、連日70名を超える皆様にご参加いただきました。

ふだん交流の少ない世代間での「おはようございます!」の朝の挨拶は、これからの時代に大切な場面だったのでないかと思えます。

「今日で終わりなんよね。毎日やったら良いのに!」と嬉しいことを言ってくれた男の子、絵日記の思い出の1ページになってくれていたら嬉しいな。

たくさんの方のご協力でラジオ体操が無事に開催できたことに心より感謝いたします。ありがとうございました。



賛助会員より

Ibasyoya Ponte・緊急事態 宣言期間中に教育機関支援

IbasyoyaPonteでは、緊急事態宣言期間中、公民館や集会所が使用できなくなった教育団体(塾、習い事など)に、レンタルスペースを無料開放しました。大塚地区で開催している教育団体限定ですが、公文式教室さんや学研教室さんなど、多くの団体にご利用いただきました。

今後も高齢者の生涯教育やお子さまの習い事の支援になるような活動を続けていきたいと思っておりますので、ぜひご利用くださいませ。

https://peraiichi.com/landing_pages/view/ibasyoyaponte/



子どもが小さい頃から地域のいろんな活動に参加させていただいて、そんな流しやお餅つき等も、おじちゃんおばちゃんとの思い出を話しながらまたやりたい！と、今でもよく言います。その楽しかったことが、災害の時などにとっても役に立つ活動だということ、ずっと知らなくて…。

参加して親子で顔を憶えてもらって、それだけでも安心して子育てができたと思っっていますが、準備や片づけも一緒にさせてもらおうと、使う道具はどこにあるのか、どうやって使うのか、安全に使うには…、また、これが想像以上に重かったり体力仕事だったり：いつもやってくださる皆さんの汗と笑顔が浮かびます。

準備と言えば、同じ頃、災害のニュースや警報が出たときなど、子どもたち自由に避難準備をさせたことがあります。

最初は、「お腹がすいたらいけんけん」とか「〇〇ちゃんと遊ぶ」とか言いながら、お菓子やおもちゃをたくさん入れていきますが、小さなリュックに、持っていききたいものが入りきらな

いことに気づき始め、リュックを大きくするだの、数を増やすだのと、三人娘が真剣な顔で相談し始めます。持っていける？とのことで、手分けをする話に…でも一緒に行けなかつたらお菓子が食べられない…と、やっぱり自分の物は自分で持つということになりました。

そんな子どもたちも、やることに実用的な物を選ぶようになり、環境や状況、成長によっても、準備しておくものが変わってくることに、物があっても使えなければ意味がないということ、そのためにも自分でやるということの大切さは感じていっているようです。

いつ、どこで、どのように起きるかわからない災害のことを想像すると、何からしていいのか、あれこれと考えすぎてしまったり、わかっていても備えが先延ばしになってしまったりもしますが、まずは家族を守る備えを考えて、少しずつでも「やってみる」を心掛けようと思います。

名前を聞くと堅苦しいイメージの防災訓練も参加してみると、ためになるクイズやゲームなどもたくさんで、「へえ〜」の連続。親子での参加もとてもおススメなのですが、まずは、早くコロナが落ち着きますように…。(防災士/アーリーナ住区・長原 由香里)

広島県アダプト制度で 亀の会が環境整備

住民・企業等が主体となって、公共用地を美化・整備する仕組みを、「アダプト（養子・縁組するという意味）制度」と呼びます。

「亀の会」は、A・CITYのパレット東側に位置する調整池周辺法面の管理をアダプト制度を利用して行っています。「亀の会」とは、A・CITYの住民有志で結成された、環境美化団体です。

8月末には、「亀の会」による調整池周辺の草刈り作業が行われました。朝から集合した「亀の会」のメンバーは、草刈りの機材整備も手慣れたもので、安全装備を整えて草刈り作業を行います。2時間ほどで作業は終わり、雑草に覆われていた法面も、地面が見えるほどになりました。

雑草が伸びたままだと、マムシ等の有毒生物の生息地になりやすく、歩行者が被害に合うこともあります。景観を整備することは、安全な暮らしにもつながります。

また今回は、8月の豪雨で地盤が緩んだのか、調整池の排水溝付近が大きく陥没していました。「亀の会」では

陥没箇所を管理者の広島県に即日で報告し、周囲の区画と対応を要請しました。

アダプト制度や里山づくりなどに代表される、様々な行政の取組みに協力することは、街の美観に寄与するだけではありません。今回のような地域の異変に気付けること、その対応をすぐに対応できる行政とのつながりがあることによって、この陥没箇所の処置も、スムーズに対応できました。

メンバーの平均年齢が75才を超えそうな「亀の会」ですが、いつもA・CITYの環境美化に努めていただき、ありがとうございます。いつまでもお元気で、この街をよろしくお願いいたします。



↑ 陥没した排水溝

(不定期連載)
管理組合だより

密着！管理組合が行く！



分譲マンションに不可欠な組織である管理組合。居住者からお預かりした管理費や修繕積立金等の予算を適切に使用し、建物や環境の保全を図る重要な役割を担っています。不定期連載ですが、あまり知られていない管理組合役員のお仕事をご紹介します。

Vol.5「豪雨や台風などの自然災害に対処する」の巻

令和3年8月8日に九州・中四国に発生した線状降水帯は、強風と大雨をもたらし、A.CITYにも大きな被害がありました。大木の倒伏や街路樹の倒木は10か所以上にのぼり、エントランスのガラス扉が破損、残地林周辺の地盤が沈下するなどの報告が相次いだ2週間。身近にも被害を受けた住民の方も多かったことと思います。

こういった災害による設備の破損や不具合は、住民の日常生活に支障をきたすばかりか、二次被害による人身事故にもつながりますので、迅速な現地調査と対応指示が必要になります。

今回の災害時には、ヒルズ管理組合 富永理事長（アーバン住区）と、ヒルズ&タワーズ管理組合の今岡理事長（パレット住区）が、被害状況を即日で現地確認。管理会社を通して、簡易補修を行い、各設備の維持管理業者に対応依頼を要請しました。

災害対応は迅速な対応と決定が必要なため、管理会社に対応を一任することも多いのですが、A.CITYの歴代管理組合理事長は、実際に現地に足を運び、確認する方がほとんどです。緊急性が高く、費用も高額につくことが多い災害復旧を任せきりにしない姿勢が、組合費の適切な運用につながっているように思います。

みなさんのご自宅の周辺でも、先日の豪雨や強風で破損した設備や、気になる箇所がありましたら、管理センターにお知らせください。



各管理組合定期総会日程（予定）

会場：A.CITYプラザ 大ホール



管理組合	開催日	開始予定時刻
ヒルズパレット管理組合	10月17日（日）	10:00～
ヒルズフォレスト管理組合	10月17日（日）	14:00～
ヒルズアーバン管理組合	10月23日（土）	10:00～
ヒルズステージ管理組合	10月24日（日）	10:00～
ヒルズアリーナ管理組合	10月24日（日）	16:00～
タワーズイースト管理組合	10月31日（日）	10:00～
ヒルズ管理組合	10月31日（日）	14:00～
ヒルズ&タワーズ管理組合	10月31日（日）	16:00～